



子供たちの川遊び



周辺が工業地域であることから植栽を施して潤いのある景観を創出



下流部の沿岸には広々とした空間も



横浜市の都筑区を流れる江川は、周辺が工業地帯として開発されるとともに、河川の汚染も進んで、人が近づかないような川になってしまった。横浜市では、人々に親しまれるような川に再生させ、市民の憩いの場として復活させることを目的に「江川せせらぎ」の整備を行った。

整備にあたっては、下水道管を地下に埋設し、その上にせせらぎを設けている。せせらぎに流す水は、近くの下水処理場からの高度処理水を使用し、オゾン消毒により水生生物が息できるように配慮している。せせらぎは上流区域と下流区域に分けられており、下流部は浸水対策のために雨水調整池としての機能を併せ持っている。また、周辺地域が工場地帯であることから、季節感を感じることのできる多彩な植栽を施し、潤いのある空間の創出を図っている。

整備後は、地域の人々に親しまれる川に生まれ変わり、昆虫や水生生物の姿も多く見られるようになった。また、横浜市では地域の良好な水辺環境を保つために水辺愛護会制度を設けており、江川周辺でも地元町内会と事業所が主体となった都田江川水辺愛護会が結成され、清掃活動や除草作業を行うなど、地域に愛される水辺となっている。

DATA・BOARD ⑧

- ① 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町・池辺町・川向町
- ② 延長：3,280m, 水路幅員：1.0～2.0m, 遊歩道幅員：1.5～3.0m
- ③ 上流部：JR横浜線鴨居駅から徒歩約15分, 下流部：JR横浜線・横浜市営地下鉄新横浜駅からバスで約20分・新開橋下車, またはバスで約30分・梅田橋下車, 第3京浜国道港北ICから車で約3分
- ④ 横浜国際総合競技場

